



**Be an ACE!** 大志・貢献・活力

県立直江津中等教育学校  
H30 学校だより No. 18

平成30年11月22日(木)発行

## 4年生が海外研修から帰ってきました

11月16日(金)交通渋滞でやや予定より遅れましたが、4年生が無事に海外研修から帰ってきました。上越水族博物館第3駐車場では、晩秋の月明かりに照らされる中、迎いの保護者の皆さんと生徒たちが約2週間ぶりに顔を合わせ、抱き合っって無事の到着を喜ぶ親子の姿が見られました。

11月4日(日)から16日(金)までの13日間に渡る海外研修が終わりました。研修中は大きな怪我や病気はなく、元気に戻ってくることができました。

最後の語学研修日は、送ってくれたホストファミリーと最後の別れの日となりました。毎年見られる光景ですが、今年も男女問わず涙、涙のお別れの場面がありました。楽しかったことや苦しかったことが一気にこみ上げた生徒も多かったことでしょう。ホストファミリーと本気で向き合ったからこそ表れた感情であると思います。

国際社会への貢献を目指す本校の生徒の、将来に向けてのきっかけとなるこの海外研修は本当に貴重な経験となりました。この経験を今後の学校生活に生かし、さらに自己実現への意欲を高められるように、今後も学校職員が力を合わせて生徒を支援していきます。



## 美しい歌声が響き、クラスが団結した合唱コンクール

11月20日（水）、前期課程の合唱コンクールが上越文化会館を会場に行われました。本校の合唱コンクール初参加となる1年生も、心を一つにして一生懸命歌っていました。1年生と思えないくらいにしっかりとパートの声が出ていました。2年生はさすがに先輩です。1年生を上回る声量と表現力があり、大きな成長が感じられました。そして3年生。今年が最後の参加となる3年生は、約2週間という練習期間の中でしたが一生懸命に練習し、当日も堂々たる歌声を披露してくれました。審査員の先生は「直江津中等の合唱審査は3回目だが、今回は驚かされた。これまで直江津中等はきれいな歌声が売り物だった。今回はきれいさに強さも加わった素晴らしい合唱で、直江津中等のイメージが変わった。」と講評で話しました。3年生は下級生の手本になる役割を十分に果たしてくれました。3年生の歌声や合唱に向き合う姿勢は下級生の心に残り、本校の伝統として受け継がれていくと感じました。

また、今年もPTA合唱が披露されました。5回という短い練習の中で、一生懸命練習を積んできた保護者と教員のコーラス団が「モルダウ」を堂々と歌いました。大人の歌声の美しさと迫力は、生徒たちにも十分伝わったことでしょう。参加して下さった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### （合唱コンクール審査結果）

（1年生）	優秀賞 3組	奨励賞 1組、2組
（2年生）	優秀賞 2組	奨励賞 1組、3組
（3年生）	優秀賞 1組	奨励賞 2組、3組
	最優秀賞	3年1組



## 前期課程卒業生講話開催～保護者も聴講可能です～

11月30日（金）の5、6限に前期生を対象とした卒業生講話を開催します。講話をしてくれるのは第3期生の卒業生です。卒業生は現在、金沢大学の4年生。本校の海外研修に大きな影響を受け、海外での仕事に興味を持ちました。大学在学中に海外で学ぶ経験をもっています。なお、この講話は保護者も聴講可能です。

### 今後の主な日程

- 11月27日（火） 5、6年生中間考査
- 28日（水） 後期生中間考査
- 29日（木） 中間考査（全学年） クラブなし
- 30日（金） 中間考査（全学年） 前期生卒業生講話（5、6限）
- 12月 1日（土） 6年生全統センタープレ
- 3日（月） 6年生一次特編開始 KIZUNA 強調月間開始
- 5日（水） 6年生三者面談開始 委員会 3年生7限カット カウンセラー来校日（午後）
- 6日（木） クラブ

